



研究・研修報告書

令和6年2月8日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派 伊藤 皇士郎

代表者氏名 伊藤 皇士郎

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

伊藤 皇士郎

2 日程

令和6年2月5日(月)

3 研究・研修名

- ・ 財政を理解して、より説得力のある政策提案につなげよう
- ・ 令和時代における持続可能な財政運営に向けて

4 主催者

(株)廣瀬行政研究所

5 会場

京都 JA ビル

6 受講の目的

予算審議に向けての知識習得のため

7 主な内容

- 第一部 元兵庫県尼崎市長稲村和美氏による予算組に関する基礎知識及び行政側視点での目論見等についての講義。
- 第二部 公認会計士横田慎一氏による予算・決算書の読み方及び予算審議のポイントについての講義

### 第三部

#### 8 所感・提言・課題等

第一部、第二部ともに実践ベースでの講義を受けることができた。

第一部の稲村氏による講義では、議員と市長どちらも経験をされた稲村氏目線での①行政のあり方と長期目線での予算を組むことの重要性を学ぶことができた。

第二部の公認会計士として自治体財政のアドバイザーとしても活躍をされている横田氏の講義では、予算・決算書の具体的な読み方を実践ベースで学ぶことができた。

特に印象的だった事項が2点あった。

① 財政指標がいくつもあるため読み方をしっかりと身につけて、数字の違和感に気づけるようになるべき

② 単発で終わらずに行政側に質問をし続けることの重要性である。

予算審議では「高い経済性」、「効率性」、「有効性が期待されるか」の目線を持つことが必要である。

そのために行政側の数字テクニックに気づき、監督することが議員として求められることを学ぶことができた。

次回の予算審議に活かしていきたいと思う。